



紫雲児の心

3月3日には64名の卒業生が紫雲寺中学校を巣立っていきました。式辞では、卒業生に向けて以下の2つの話をしましたのでご紹介します。今後も、紫雲寺で学んだ干拓魂を忘れず、困難にぶつかってもうまくいかなくても諦めずに自分の目標に向かって進んでほしい、そして、何よりも人を大事にし、人とのかかわりをとおして、人として成長し続けてほしいと願います。

卒業式 式辞より（抜粋）

校長 五十嵐 めぐみ

紫雲寺中学校を卒業し、今日から自分の道を歩み出す皆さんに、最後に私から2つの話をします。

1つめは、「人を大事にしてください。」どんなに技術が進歩しても、一番大事なものは人です。人はそれぞれ違います。誰にでも長所もあれば短所もあります。長所は一步間違えると短所にもなり、短所は、自分が自覚して努力すれば長所にもなり得ます。相手の短所に注目するのではなく、長所に目を向けることで、相手を大事にできる人になってください。そして、自分の長所を生かす生き方をしてください。苦手を克服する努力をしながら得意を伸ばし、自分の良さを社会の中で生かして、誰かの役に立てる人になってください。

社会の中でいろいろな人と上手に関わっていくためには、「想像力」が大切です。自分の言動が人に与える影響を想像すれば、どんな言葉を発すれば良いか、どんな行動をとれば良いか、自然と見えてきます。感情のまま行動せず、一度立ち止まって自分の言動の影響を想像してみてください。それから行動すれば、いろいろな人と上手にかかわりながら、後悔しない人生を送れるはずですよ。

2つめは、「失敗から目を背けないでください。」皆さんはこれまで様々な活動に熱心に取り組んできましたが、すべてが上手くいったとは言えないでしょう。学校行事や部活動などで思うような結果を得られなかったり、人間関係で悩んだり、学習面で躓いたりしたこともあったと思います。人は誰でも失敗しますが、失敗した時に、それを受け止め、自分を見つめ直すことができる人は、人として成長できる人です。そして、取り返しのつかない失敗を避けることができます。

一方、自分の失敗を人のせいにしたり、言い訳をしたりする人は、同じ失敗を繰り返します。「過ちて改めざる、これを過ちという。」です。失敗から目を背けず、常に成長する人でいてください。「失敗は成功のもと」です。皆さんはこれまでも真摯に自分と向き合い、失敗しても投げやりにならず、失敗を生かしながら着実に成長してきました。昨日より今日、今日より明日。今後も、失敗から学び、人として成長し続けてください。